

# ぎふ障スオ!だより

平成16年9月

第4号

2004.  
9.

編集・発行 岐阜県障害者スポーツ協会 〒500-8385 岐阜県岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福社会館5階  
TEL.058-273-1111(代) FAX.058-273-9308 mail gisyousupo@human-i-land.com



パラリンピックに出場した“川島由美選手”

# 岐阜県障害者スポーツ協会役員名簿

全国的に、障害者スポーツを取り巻く環境が変わりつつある中、障害のある方々のスポーツに取り組む内容や姿勢にも大きく変化がみられ、岐阜県出身者で二名の方がアテネパラリンピックに出場されました。彼女らは、それぞれ名古屋市や神戸市など障害者スポーツの盛んな地域に拠点を置き、活動されて日本代表になり、世界に臨みます。

このような環境の変化に伴い、  
障害のある方々の要望や期待度も  
ますます高まってきております。

それらのニーズに応えるためにも、障害者スポーツ指導者の組織を充実させると共に、スポーツ協会と

連携を図りながら、地域における障害者スポーツの振興を組織的に支援していく事が不可欠であり

岐阜県障害者スポーツ指導者協議会が設立されました。

協会が三年目を迎えた役員が改選されましたのでご報告しつつ、今後の障害者スポーツの御理解と御支援をよろしくお願ひ致します。

監理事(再)西脇寛樹	(岐阜県保健医療課長)
監理事(新)大竹輝臣	(岐阜県障害福祉課長)
監理事(再)井川威	(岐阜県町村会長)
監理事(再)川合良樹	(岐阜県市長会長)
監理事(新)小玉敏郎	(岐阜県聴覚障害者協会会長)
監理事(再)坂井久三	(岐阜県視覚障害者福祉協会会長)
監理事(再)浦島誠司	(岐阜県精神保健福祉協会会長)
監理事(再)岩井利光	(岐阜県身体障害者福祉施設協議会会長)
監理事(再)河田久和	(岐阜県精神障害者家族会連合会長)
監理事(再)川田進	(岐阜県身体障害者福祉協会会長)
副会長(再)松井逸朗	(岐阜県社会福祉協議会常務理事)
副会長(再)河田久和	(岐阜県知的障害者育成会理事長)
副会長(再)川田進	(岐阜県精神障害者家族会連合会長)

# 全国障害者スポーツ大会選考会

第2回



昨年から身体障害者と知的障害者を統一した大会となつた岐阜県障害者スポーツ大会春大会の第二回の大会が、「障害者スポーツの一層の発展を図るとともに、社会の障害者に対する理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加の促進に寄与する」と

立と社会参加の促進に寄与する」と目的に掲げ、個人競技については、平成十六年度に開催される「第四回全国障害者スポーツ大会」への県代表選手、団体競技については「北信越・東海ブロック大会」への代表チーム選考のために実施されました。

個人競技のなかでも六月六日(日)

に大垣市浅中公園陸

上競技場および同公園多目的広場で開催

した陸上競技とフラ

イングディスク競技は選手・競技役員、ボランティア合わせて約八百名の大会となりました。

開会式は、陸上競技場で、合同で行なわれ身障代表加藤誠子選手(多治見市)、知的代表柄井淳選手(東濃養護学校)の両選手の力強い選手宣誓により大会が開幕しました。



あいにくのコンディションのなか式後、各競技場において競技が行なわれ、陸上競技は競争、跳躍、投てき競技の計十六種目が実施されました。フライングディスクは、午前アキュラシーカー競技(ディスリート7・ディスリート5)、午後ディスタンス競技に分けられ試合が行なわれました。



大会を締めくくるブロック別対抗リレーでは、雨でスリップして転倒する選手もでるなか、接戦が展開され一位西濃ブロック、二位中濃ブロック、三位岐阜Bブロック、四位岐阜Aブロック、五位東濃ブロックという結果となりました。

全国大会も生涯に一度だけの参加であったのが、二度目の参加が認められる様になりましたので、少しでも多くの皆様が県大会に参加され全国大会を目指していただきたいと思います。

# 岐阜県障害者スポーツ春大会開催



## 第四回全国障害者スポーツ大会 北信越・東海ブロック予選結果

岐阜県では、バレー、ボール競技知的男女を五月二十三日(日)に北方町総合体育館にて行いました。結果は次のとおりです。

**男子…準優勝**  
**女子…優勝**

### ◆その他の大会結果

#### 身体障害者競技

一回戦敗退

#### ・車いすバスケットボール

第三位

#### ・聴覚バレー、ボール

男子…第三位

#### 知的障害者競技

#### ・バスケットボール

**男子…準優勝**  
**女子…優勝**

#### ・フットベースボール

一回戦敗退

#### ・ソフトボール

**優勝**

第三位



## 岐阜県バレー、ボール 知的女子チーム 監督 菱田佐恵子

バレー、ボール競技は、中濃養護学校の生徒と卒業生クラブの混成チームで活動しています。

五月に行われた北信越・東海ブロック予選大会では、男子チームは静岡県に快勝しましたが、惜しくも愛知県に負けました。女子チームは、静岡県との接戦を征し、全国大会の出場権を得ることができました。

結成当初から考えると、選手の自立性や技術面の向上がみられ、選手自らバレー、ボールを楽しむ姿勢がついてきています。

今後は、男子は来年の全国大会出場を目指し、女子は東海・北信越の代表選手としての自覚をしっかりと、チームワークを大切にしながら、埼玉大会でのメダル獲得を目指して練習に取り組んでいきたいと思っています。

## 「初戦突破をしよう」

### 岐阜県ソフトボールチーム 監督 野呂成司

「ごくろうさま、おめでとう！」

試合後選手に声を掛け、握手をしました。中には涙を流している者もいます。それほど六月に行われたブロック大会は、苦しく、また充実した試合内容でした。選手は一試合ごとに力をつけ、三試合を勝ち続けました。

しかし、全国大会で勝つにはまだまだ、覚えることが多くあり、練習で苦しんで、試合で楽しめるようにと、初戦突破を目標に、練習に取り組んでいます。

## バスケットボール女子 北信越・東海ブロック大会 連続優勝！



大垣養護学校の卒業生と在校生で結成した岐阜県代表チームは、五月十六日(日)に松本市で行われた「北信越・東海ブロック大会」に参加しました。長野県代表、静岡県代表に勝ち、三年連続で全国障害者スポーツ大会に出場できることになりました。

これまで二年連続で全国二位でした。今回こそ、優勝を勝ちとれるよう、一致団結してがんばります。

# 岐阜県障害者スポーツ指導者協議会設立

去る八月八日(日)、大垣市ソフトピアジャパンセンタービルに於いて、岐阜県における障害者スポーツ指導者の総括団体として、岐阜県障害者スポーツ指導者協議会の設立総会が

開催されました。

この設立総会は、県内に在住・勤務、または活動している方で、財團法人日本障害者スポーツ協会認定の障害者スポーツ指導員修了者及び岐阜県障害者スポーツ協会が主催する養成研修会修了者などで組織された

協議会で、この度、指導者の資質向上と指導者間の交流及び相互理解を図り、もって障害者スポーツの発展に寄与することを目的に、県下各地から八十名の参加を得て開催されました。

開会後、岐阜県障害者スポーツ指導者協議会設立準備委員長細江保雄氏が、設立に当たつての経過報告と主催者挨拶。歓迎のお言葉を岐阜県健康福祉環境部福祉局障害福祉課課長後藤弘之氏、岐阜県障害者スポーツ協会長松井逸朗氏から、「障害者スポーツ指導者の

組織を充実させると共に、スポーツ協会と連携を図りながら、地域における障害者スポーツの振興を組織的に支援していく事が不可欠です。」と話されました。

その後、規約・事業計画・予算を審議・可決した後、役員選出に入り、下記のとおり選出されました。

二部においては、「障害者のスポーツ活動について」と題し、助言者に、東海ブロックから愛知・名古屋・三重・静岡の指導者協議会会长、岐阜県から細江保雄会長・船渡千賀子理事、助言者に岐阜経済大学助教授高橋正紀氏、コーディネーターにスポーツ協会事務局長岩田守男を迎え設立記念フォーラムが行われました。

各協議会からは、現在の活動状況から今後の課題等を話して頂き、岐阜県から、岐阜県の障害児者のスポーツの取り組み、高橋先生から、地域における障害者へのスポーツ活動への支援を話して頂き、今後の障害者スポーツ指導者協議会がどうあるべきか、研究されました。

今後は、県内外の障害者スポーツ大会と教室に対する協力及び審判講習会等が行われます。



会長 細江保雄  
上級スポーツ指導員  
副会長 石橋雅英

田口英雄  
岐阜県身障体育指導員  
理事 田中勇  
初級スポーツ指導員

理事 他田正喜  
初級スポーツ指導員  
理事 伴野芳幸  
岐阜県身障体育指導員

理事 青山幸二  
初級スポーツ指導員  
理事 船渡千賀子  
初級スポーツ指導員  
監事 西川見義  
初級スポーツ指導員



# めざせ栄光!・美濃国でパワー全開! 日本まん真ん中

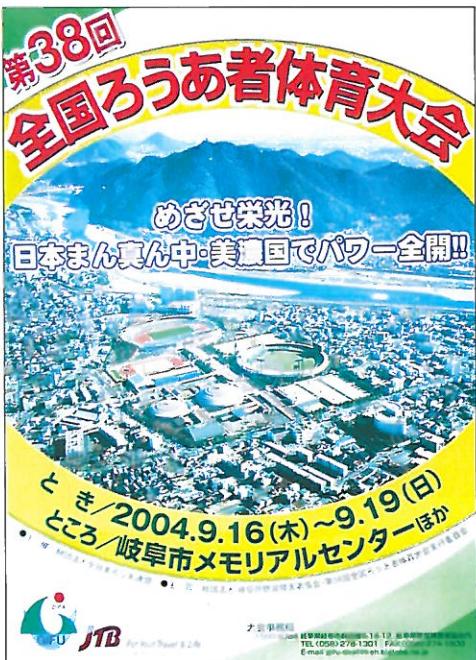
聴覚障害者スポーツ界も、来年一

月オーストラリア・メルボルンで開催されるデフリンピックを控え、日本代

第三十八回全国ろうあ者体育大会、  
(主催・財団法人全日本ろうあ連盟、

主管・社団法人岐阜県聴覚障害者  
協会、第三十八回全国ろうあ者体  
育大会実行委員会)が九月十六日(木)  
(十九日(日))までの四日間岐阜市・  
大垣市・瑞穂市で開催されました。

競技は、野球・卓球・バーボール・  
陸上・サッカー・テニス・ゲートボール・  
ボウリング・ソフトボール・バドミント  
ン・バスケットボールの十一競技です。  
今年は、アテネでオリンピックが開  
催され、多くの日本人選手が活躍さ  
れました。



月オーストラリア・メルボルンで開催されるデフリンピックを控え、日本代  
表選手に於ては世界で飛躍するス  
テップとなる大会でもあり、順調な  
仕上がりと活躍が期待されます。  
また、野球競技は五十回の節目の  
大会ということでも、注目されてい  
ます。

今年の体育大会参加選手は、およ  
そ二千人、その他、大会役員・関係者  
五百人の三千五百人が参加する  
予定です。

## 《問い合わせ先》

第三十八回全国ろうあ者体育大会実行委員会

T E L : ○五八二二七八一三〇一  
F A X : ○五八二二七四一八〇〇

二〇〇五年二月二十六日(土)か  
ら三月五日(土)まで、世界八十カ国  
から二千五百人(予定)のアスリート  
が長野に集まりスペシャルオリンピッ  
クス冬季世界大会・長野が開催され  
ます。

スペシャルオリンピックスとは、知的  
発達障害のある人が、オリンピック形  
式の競技会に参加することで、健康  
を増進し、勇気を示し、喜びを感じ、  
運動機能向上、身体的な発達促進  
ばかりでなく、チャレンジ精神や勇  
気を培い、目的達成の喜び、生きる  
喜びを感じることを目指し行われる  
世界大会です。

岐阜県でもスペシャルオリンピック  
の知名度を高め、この世界大会を  
機に一人でも多くの方に知つていただ  
くための500万人トーチラン(聖火  
リレー)が計画されました。

十一月七日(日)岐阜市長良橋詰  
河川公園の高橋尚子ロードで行われ  
ることになりました。

スペシャルオリンピックスへの参加を  
促進し、岐阜県の障害者スポーツの  
発展のため、たくさんの方の参加を

# スペシャルオリンピックス 500万人トーチランINぎふ

お待ちしています。

## 《問い合わせ先》

500万人トーチランINぎふ  
実行委員会

T E L 058-273-1111  
(岐阜県障害者スポーツ協会内)



## これからの予定

- ◎十月三日(日)  
第九回長良川  
ふれあいマラソン大会  
海津町長良川サービスセンター前  
特設会場
- ◎十月十四日(木)  
岐阜県サイクリングピック大会  
岐阜市 メモリアルセンター
- ◎十月二十四日(日)  
第二回岐阜県障害者スポーツ大会  
岐阜市 メモリアルセンター 秋大会
- ◎十一月七日(日)  
第一回全国身体障害者  
グラウンド・ゴルフ大会  
岐阜市 メモリアルセンター
- ◎十一月十三日(土)～十五日(月)  
第四回全国障害者スポーツ大会  
埼玉県熊谷市他
- ◎一月十九日(土)～二十日(日)  
第一回全日本知的障害者  
サッカー選手権選抜大会  
岐阜市 メモリアルセンター
- ◎二月十九日(土)～二月二十日(日)  
岐阜県障害者スポーツ協会
- TEL 058・273・1111



《貸出用具》

グラウンド・ゴルフ、フライングディスク、ゲートボール、アウトリガーリ位置式、チエアスキー、ボッチャ、すべりマット、盲人タッチ合図棒、プール用車いす、競技用車いす(バスケットボール用・テニス用、競走用)、スラローム用、障害急歩、その他

九月十七日(金)～二十八日(火)にギリシャのアテネにて行われるパラリンピックに岐阜県出身の川島由美選手(陸上競技)と後藤幸子選手(車いすバスケットボール競技)が選ばれ、川島選手は、八百メートルと五千メートルに出場し、後藤選手は、パワーフォワードとして出場しました。百四十の国と地域から約四千人の選手、二千人の役員が参加しました。日本からは、選手百六十三名役員百八名計二百七十二名が参加しました。

## パラリンピック イヤー

**脳性麻痺七人制サッカー  
日本代表に選ばれる**

羽島市の栗本裕也さん(FC PR OGRESO所属・日本脳性麻痺七人制サッカー協会登録チーム)が日本代表に選ばれました。

日本代表に加わっての初戦は十月十七日大韓民国ソウルにて行われる第五回韓日脳性麻痺障害者サッカー大会です。皆さん応援お願ひします。

## 障害者スポーツ団体紹介

### フライングディスクスポーツ

岐阜県障害者フライングディスク協会

理事長 蔡澄 孝治

障害者スポーツは障害者の健全な心身の発達・健康の維持増進・社会参加・自立を促すうえで、大きな役割を担っています。その中でも、フ

ライングディスク競技は、安全性、競争性、レクリエーション性の面から障害者スポーツに適してるとされ、知的障害者の世界的規模のスポーツ

祭典「スペシャルオリンピックス」、一九九三年から二〇〇〇年まで行われた「ゆうあいピック」、二〇〇一年からは、「全国身体障害者スポーツ大会」と「ゆうあいピック全国大会」が統一された「全国障害者スポーツ大会」などの正式種目として取り上げられ実施されている。これにより、全国的に愛好者が増加の一途をたどり、障害の区別なく、誰もが一緒に参加できる競技として評価の高いところである。

と、説明したところで、まだフライングディスク競技の歴史は浅く、障害者スポーツに関心のある方々にも認知されていないのが現状であります。今回は、文面をお借りしまして

（競技方法）距離は遠くへ飛ばせば勝ちです。ライン前方なら、百八十度どこへ投げてもかまいません。助走は一八三mとれます。三回続けて投げ、一番長いのが記録されます。投げ方は問いません。的入れは、直径〇・九m、地上から〇・六mの的

に、五mもしくは七m離れた所から十回続けて投げ、何回通過したかを競います。同じ回数なら早く入った方が勝ちで全く同じなら再度やります。

（練習方法）①少ない時間でもよいので、毎日練習しましょう。②投げるというより、ディスクを回すことなどが大切です。そのため手首のスナップを利かせましょう。③二人に向いあってやりましょう。慣れてきたら、距離を徐々に伸ばしたり、フランプの的に投げたりしましょう。④毎回、記録をとりましょう。⑤岐阜県障害者フライングディスク協会（電話〇五七五・二四〇〇一五）の専門家に指導をお願いしたり、本（「フライングディスクのすすめ」等）を参考にしたりしましょう。

暑い夏が終わりを迎え、更に熱いアテネオリンピックも終了。これからは皆様の日々の練習成果を発揮するフライングピックが開催されます。「岐阜障スポだより」第4号がパラリンピック・スペシャルオリンピックスなど盛り沢山の内容を掲載いたしました。

今後も、皆様に親しまれ、愛される誌面を目指し頑張っていきますので、多数の御意見御要望をお寄せくださいことを心よりお待ちしています。（服部）

（用意する物）ディスクを買って下さい。必ず「ファーストバツクモデル（百五g）」です。距離（ディスタンス）競技は三枚、的入れ（アキュラシー）なら十枚は最低用意しましょう。巻尺やフラフープも。



ディスタンス競技計測

## 会員を募集しています

私たちは、障害のある人や、ない人も「ともに生きる社会」を実現するため、スポーツを架け橋として、障害のある人の自立と社会参加の促進に向け努力してまいります。

そのためには、多くの皆様のご協力が必要ありますので、積極的に温かいご支援を心からお願い申し上げます。

## マークも募集中です

区分		年会費
会員	個人会員	1口 1,000円
	団体会員	1口 5,000円
賛助会員	個人会員	1口 1,000円
	団体会員	1口 10,000円

連絡先：〒500-8385 岐阜県岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉会館内

岐阜県障害者スポーツ協会

TEL.058-273-1111 FAX.058-273-9308

メール gisyousupo@human-i-land.com